

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和4年11月号

「やさしさ」ってなんだろう ～11月 学校長の話から～

11月14日～25日まで「なかよし旬間」として、人権同和教育に特に力を入れて取り組む期間でした。期間中の校長講話では、「『やさしさ』ってなんだろう」というテーマで、宮西達也さんの絵本「ニンジャさるとびすすけ」から、「いじめをなくすじゅつのまき」の部分の朗読と、目が不自由になった和歌山市の山崎さんのバス通勤を、10年以上も助けつづけている小学生たちの話を、テレビ番組をもとに紹介しました。



＜宮西さんの絵本の表紙＞

絵本の方では、いじめを受けていた主人公のすすけは、おとのさまから、いじめはやりかえしても終わらず、逃げたり隠れたりしても解決しないことを教えられ、「いじめをするものは、なにかきつとつらいことかなしいことがあるのじゃ。おまえの『やさしさのじゅつ』をみせてやれ」と諭されます。

山崎さんの話の方では、10年以上山崎さんを助け続けていた小学生たちが、実は、お互いに誰かに頼まれていたのではなく、いつも助けている子が学校を休んだり、卒業したりしたときに、自然と別の子が代わりにお手伝い

をしていたことが明らかになります。番組では、こうした行動に対して『やさしさのバトン』という言葉があげられています。

この2つの言葉に共通する「やさしさ」とは何か、「この旬間でじっくり考えて欲しい」と子どもたちに投げかけました。

すると、6年生からは以下のような感想が寄せられました。

- やさしさのじゅつは、「話し合う」ことだと思う。相手の事情もちやんと聞けて、自分がやだかったこともきちんと話せるからー。
- なんでも「うんうん」だけではなく、しっかり伝えることも大切ー。
- (山崎さんを助けたことについて)名前も知らないお互い初めてのの人に、そこまでできるのがすごい。自分と同じ小学生なのにー。
- 見て見ぬふりをせず、自分から声をかけることがやさしさかもー。

子どもたちの言葉からは、「やさしさ」は一方的なものではないこと、時には勇気も必要であることが伝わります。子どもたちに深く考えてくれたことを、とてもうれしく思いました。

それから まいにち
なまえもしらない おんなのこは
やまざきさんを たすけてくれた。

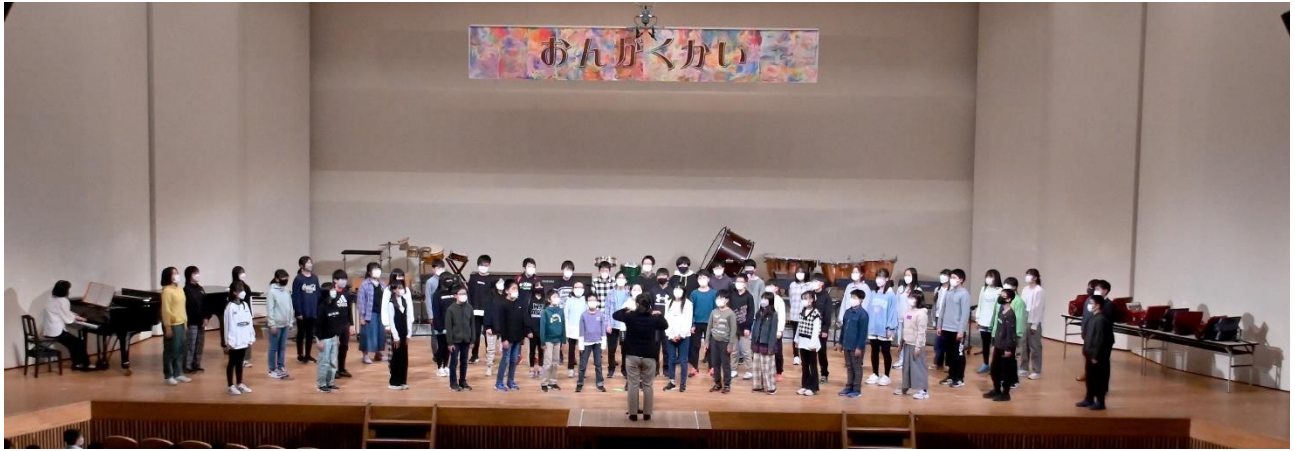


＜山崎さんのお話は、R3年10月にテレビ朝日で放送された、「ぺこぱのポジティブニュース」という番組をもとに構成しました。現在は、「バスが来ましたよ」という絵本（アリス館）になり、出版されているそうです。＞

「サンテラス音楽発表会」特集

☆各学年の先生方に「本番までどんなことを大切にして練習に取り組んだか」をインタビューしました。
音楽発表会を終えての子どもたちの感想も合わせて紹介します！

6年合奏 松組「剣の舞」竹組「RPG」 学年合唱「花になれ」



現6年生が最後に音楽会を経験したのは3年生の時。その時の6年生の姿にすごく感動した気がするけれど、しっかり覚えていません。ですから「最上級生としての姿を見せたい！」という思いはあるものの、どんな姿が最上級生にふさわしい姿なのだろう…。そこに悩みながら練習してきました。

交歓演奏会に向けて練習に励んでいた友だちの姿を思い起こし、下の学年の友だちが精一杯歌い、練習する姿を見て刺激をもらいながら、目指す6年生の姿を少しずつ鮮明にしていきました。

☆メッセージに「歌も合奏もいつも以上にやる！」と書いた通りにできた。これまで以上に歌と音を出せてよかった。

☆1回も間違えなくてアコーディオンを弾きることができました。みんなが周りにいたから安心しました。みんなと協力して最高の音楽発表会にできてよかったです。

1年合奏「よろこびの歌」 斉唱「だれにだっておたんじょうび」



7年前、お父さんとお母さんから大切な命を分けてもらって、自分がいること、そして、今まで愛情を込めて育ててもらったことに「ありがとう！」の気持ちを表せるように。いつも家族に大切にしてもらって、いつもお友だちと仲良く楽しく過ごせて嬉しいよという気持ちが伝わるように頑張りました。

☆うまくけんぽんがひけてよかったです。あと、みんながすごかったです。

☆めっちゃくちゃ楽しかったです。いっしょうけんめいれんしゅうしたからじょうずにできました。 ☆はじめはうまくできなかったけど、れんしゅうしたらうまく

できるようになりました。 ☆おたんじょうびのポーズをカッコよくきめられました。うれしかったです。

4年合奏 松組「糸」竹組「フニクリフニクラ」 学年合唱「MIDORI～繋がる輪～」

歌詞の持つ意味を考え、歌詞を大事にして一つ一つの言葉をしっかり伝えること。歌詞に込められたメッセージが聴いている人の心にストレートに届くように表現することを大切にして練習してきました。合奏はそれぞれの学級の雰囲気が出るような曲を選んで頑張ってきました。

☆特に意識したのは「ほっぺアッフ」です。しっかりと上げることができました。

☆合奏も合唱も 100 点満点以上でした。今日まで練習してきたことをよく出し切れた音楽会でした。 ☆お母さんに 100 点満点中何点か聞いてみました。そしたら「200点」と言ってくれたので、やっぱり全ての練習の成果が出せたんだと思い、ほっとしました。来年もがんばりたいです。



しっかり育っています！思いやりの心～2年生豆こなし・生活科遠足～



7日に和地区農村支援センターの皆さんにお手伝いしていただき、2年生が「豆こなし」を体験しました。強くたたきすぎると、大事な豆がどこかに飛んでいってしまいます。力加減に気をつけて作業をしました。「ただただけでは上手くとれない豆は、優しく踏んでとるんだよ。」と裏技を教えてくださいました。早速挑戦！大事な豆を踏むのにはちょっと躊躇していましたが、「このくらいの強さでいいかな？」と可愛い可愛いお豆ちゃんたちの声を聴きながら上手にできました。唐箕でゴミを飛ばす作業も体験しました。まず「とうみ」という名前にちょっとびっくりです。だって自分たちの住むこの街も「とうみ」ですから。でももっとびっくりしたのは、唐箕の仕組みです。ハンドルを回転させることで強い風を起こし、ゴミを飛ばす様子に子どもたちは大興奮。「やりたい！やりたい！」と長蛇の列。10回ずつ交代して回しました。思いの外、力がある作業にみんな真剣そのものでした。「大豆でねえ、おからサラダを作るんだよ！おからサラダはねえ、作りたてじゃないとおいしさが減っちゃうんだ！」と自慢気に話してくれた子がいたこと、子どもたちの話の聞き方が相手を大切にしている思いが伝わる素晴らしい姿で感心したことをちょうど学校見学に来ていた学校評議員さんが嬉しそうに話してくれました。



8日には懐古園に生活科遠足に出かけました。動物園では今年もライオンが力強く吠えて子どもたちを出迎えてくれました。ライオンとは正反対で全く声を出さずにおとなしく座っている川上犬に興味津々の子どもたち、クジャの前でじっと羽を開くのを待つ子などどの子どもも楽しんでいました。一番盛り上がったのはやっぱり遊園地。真っ青な空の中に吸い込まれていくようなツインドラゴンに大はしゃぎ。それ以上に人気があったのは、真っ赤に色づいた木々の絨毯の上を友だちと一緒に空中散歩する「スワンサイクル」でした。楽しそうな子どもたちを見るのは嬉しかったですが、それ以上に嬉しかったのは、他の乗客のみなさんを気遣い、静かに、マナーよく電車に揺られている子どもたちの姿でした。「1年半前に出会った、あの幼い1年生の子どもたちがこんなにしっかりと周りの人たちのことを考えて、社会の一員として行動できるようになるなんて…」感動でした。付き添った職員は、子どもたちの成長した姿を見ることができ、遠足の疲れも真っ青な空に飛んでいきました。



永井農場さんからさらなるやる気をもらいました～5年収穫祭



16日、5年生が「収穫祭」のため永井農場に出かけました。最初に籾すりの様子を見せてもらいました。5年生が栽培したお米をとっておいとくださり、苦労してつくった自分たちのお米が玄米になっていく様子を見ることができました。そして…いよいよ、専門の方によるお米の審査です。黒いお皿にとった玄米を鋭い視線で見つめる農場の方にそれ以上の鋭く熱い視線を送る子どもたち。場内の空気がピンッと張り詰めました。「今審査したところ、みなさんの米は『一等米』です！」その言葉に「オー！」「すげえ！」と子どもたちから歓声が上がりました。その後は精米の見学です。「精米機」といってもその大きさはまるで要塞のよう。見るだけで圧倒されてしまいました。精米が始まると、隣の友だちのしゃべり声も聞こえないほどの大きな音と想像をはるかに上回るスピードに、またも圧倒されてしまいました。一番の感動は、精米したての米を手にとらせてもらっ

た瞬間です。「あったか〜い!」「こんなに白くなったんだ!!」とどの子ども目を見開いて感動の声を上げていました。牛舎の見学もさせてもらい、永井農場さんが環境保全のために大切にしている「循環型農業」について詳しく説明してもらいました。最後は、社会科で日本の農業の学習をした子どもたちから永井さんにたくさん質問させてもらいました。「農業人口の減少」については永井さんも「とても寂しい…」ということでした。「でも、この永井農場には農業への情熱が溢れる若い子たちがたくさん集まってくてくれる。彼らのやる気がとってもありがたいよ!」と嬉しそうに、また、誇らしげに語ってくれました。



感染防止のため、例年のように現地での飲食はできませんでしたが、5年生のために長時間真剣に答えてくれる永井さんや生き生きと働く農場の方々の熱い思いに触れ、真っ白い宝石のように生まれ変わった自分たちのお米に出会えたことで、子どもたちは大満足でした。午後にはたくさんのお餅を学校に届けていただきました。永井農場の皆さん、本当にありがとうございました。まだ活動は続きます。5年生全員、最後まで農場の方々と力を合わせて頑張ります!!



カメラの魅力と自分の才能に気づきました!〜3年生〜



1日「日本広告写真家協会」からプロのカメラマンさんたちに来ていただき、図工の授業で一生涯制作した「トゲトゲランドの仲間」を一人一人撮影しました。工夫するポイントとして「光」「アングル」「ズーム」について教えていただき、カメラの使い方を確認すると、子どもたちの頭の中には大切なモデルをどの場所で、どう撮ってあげたいかがイメージできていたのでしょう。すぐに、思い思いの場所に出かけていきました。どの子どももすっかりカメラマンになりきり「いい

ねえ、そのポーズ!」「素敵だね!今の表情!」そんな声が聞こえてくるかのようでした。心なしか、動物たちも小さなカメラマンからの声にどんどん表情が柔らぎ一流モデル気分になっているように感じました。将来、和地区から世界から脚光を浴びるカメラマンが誕生するかも…。



仲良くすることのスペシャリストたち〜特別支援学級交流遠足〜



21日に菊組と桜組の子どもたちが「佐久市子ども未来館」と「小諸南城公園」に行きました。普段は違う教室で勉強しているのですが、バスの中の様子はまるで1つのクラスのように。高学年の子が堂々と会の進行をし、どの子どもも話す友だちを大切にしたい聞き方をしていました。未来館でのキーホルダーづくりでは、お互いの作品のよさを認め合ったり、細かい作業を助け合ったり行ったり、優しく声をかけながら道具の貸し借りをしたりする姿が見られま

した。自由見学の時間には「これ面白いよ。やってみなよ!」と誘い合う様子が見られました。南城公園では、大きなアスレチックでみんなで鬼ごっこをしたり、屋根つきのベンチで仲よくおやつを食べたりしました。小さい子と一緒に訪れているご家族が多かったので、危険がないように離れてフリスビーをしたり、さりげなく遊具を譲ったりする素敵なお兄さんお姉さんぶりも発揮していました。11月とは思えないぽかぽか陽気でしたが、それ以上に私たちの心を温めてくれたのは年齢差を越えて仲よくできる子どもたちの素敵な姿でした。



5年合奏 松組「風になりたい」竹組「八木節」 学年合唱「僕にできること」



2年間「頭声発声」や音楽会の練習に取り組むことができなかったのも、合唱では「会場にいる皆さんに美しい響きの歌を届けたい！歌う姿で音楽会にかけの思いを伝えたい！」合奏で「様々な行事や活動で力を合わせて頑張ってきた仲間たちと楽しく、仲よくリズムに乗って自分たちも楽しみながら会場を盛り上げたい！」という思いで頑張りました。

☆音楽会は「楽」という字の通り、とっても楽しかったです。☆緊張したけれど、途中からだんだんリズムに乗れていって、いい演奏になったと思います。☆先生の指揮で私の心もウキウキになってきて、楽しくできました。あらためて「5年生最高！」と思いました。☆3年ぶりの音楽会、みんなと協力してできたと思います。また音楽会をやりたいです。☆明るく楽しくできたので本当に良かったです。みんなで今まで練習してきた成果を出せたと思います。3年ぶりの音楽会がすごく楽しくてなつかしかったです。

2年合奏 「夢をかなえてドラえもん」 斉唱「はじめよう音楽会」



合奏では、友だちの音をよく聴いて、友だちみんなと音を合わせることの心地よさが感じられるように。合唱では、オープニングを任されたので「音楽って楽しいよ！全校のみんなで楽しい1日にしようよ！」という気持ちを伝える歌の妖精になろう！と思って頑張りました。

☆さいしゅはきんちょうしたけど、みんながいっしょにえんそうしてくれたおかげできんちょうがほぐれて、みんなのおかげでがんばれるようになって、力がわいてきました。みんなありがとう。☆中に入ったらわくわくしてきて、みんながほめてくれてうれしかったです。☆さいしゅはきんちょうしたけど、歌ったらきんちょうなくなって、すらすらきもちよく歌えました。☆ステージのほとと、あさより声が出ました。ちょっときんちょうしたけど、がんばらなくちゃとおもいました。☆ぜんぜんきんちょうしなかったから、自分でもびっくりしました。今日はうまいったなと思いました。

3年斉唱&リコーダー奏 「あの雲のように」「ソラシドマーチ」

「一人ひとりが自信をもって音楽やステージを楽しめるように。そのためにコツコツ練習したり、ちょっと勇気を出して一歩踏み出したりするなど、自分なりのチャレンジをしよう。そして、チャレンジする友だちを応援し、観る人や聴く人が楽しめる発表づくりをしよう。」というめあてで頑張りました！



☆音楽発表会ができて夢のようでした。とっても楽しかったです。ウルウルしたと言ってくれてとってもうれしかったです。☆「みんなありがとう。」という気持ちになりました。☆お母さんがほめてくれたし、ホールでずっと見てくれてうれしかった。☆いつものれんしゅうより大きく元気にしゃべっていた友だちがかっこいいです。それを見ならってエンディングで自分をだし切れたと思います。☆きんちょうしなかった。だって、練習通りにしたから。練習よりできたと思った。

保護者の皆様、サンテラス音楽発表会の日まで、子どもたちの練習を手伝っていただいたり、励ましていただいたりしたこと、本当にありがとうございました。

竹内不忘先生の 作品展開催



本校のシンボル像「太陽の子」の作者である、竹内不忘先生の作品展が、「竹内不忘先生を顕彰する会」の皆さんのご協力で実現しました。保護者の方々には、18日の参観日の折に鑑賞していただき、子どもたちは、それぞれクラスごとに時間をとるなどして、鑑賞しました。「どうしてこの人の髪の毛は上を向いているんだろう」「草原で走っているからじゃないかな」「傘屋のおじさんは、職人らしさが伝わってくる」など、子どもたちは、互いに感じたことを伝え合いながら見方を深め、不忘先生の彫刻の世界に入り込んでいました。この後JA和店にも展示される予定です。

PTA講演会「今知っておきたい人権課題」



「もし身近な人からLGBTQであることをカミングアウトされたらどうしますか？」そう尋ねられたとき、答えが見つからない自分に戸惑いました。18日、東信教育事務所生涯学習課指導主事の中村哲先生にご来校いただき、「LGBTQ 問題」や「新型コロナウイルスにかかわる人権問題」についてご講演いただきました。日本の性的マイノリティの割合が約9%（11人に1人）、ほぼ左利きの人の割合に等しいこと、カミングアウトはする人たちにとって命がけであり、相手への信頼の証であること等、詳しく教えていただきました。中村先生の「私たちも同じ『当事者』なんです。」という言葉が胸に突き刺さりました。常に自分の人権感覚を問い直していく必要性を感じました。

12月の予定

- 1日（木）安全点検日 5年リモート社会見学
 - 2日（金）3年社会見学 6年租税教室
 - 3日（土）県立中学適性検査
 - 5日（月）学校集金口座振替日
 - 8日（木）学期末学級事務期間（～12日）
 - 9日（金）GSST⑦（最終回）
 - 13日（火）スクールカウンセラー来校日
そり・スキー教室下見 地区児童会
 - 14日（水）4年創造館学習
教育支援ボランティアとの懇談会
保護者懇談会（東深井、西深井、曾根）
 - 15日（木）学期末清掃（～22日） 6年記念館清掃
保護者懇談会（海善寺、海善寺北、東西入）
 - 16日（金）保護者懇談会（東上田、その他）
 - 19日（月）保護者懇談会（日向が丘、睦、寺坂）
 - 20日（火）保護者懇談会（大川、栗林、田沢）
 - 21日（水）東御市学校職員会②
 - 23日（金）2学終業式
 - 24日（土）～1月5日（木）年末年始休業
 - 学校リフレッシュウィーク 29日（木）～1月4日（水）
- *****



10月28日、和保育園のハロウィンパーティに、1・2年生を招待してもらいました。自分たちで考えた出し物やお店を、生き生きと運営する園児たち、お返しに音楽会での発表曲を演奏する小学生たち。互いの育ちが感じ取れる、とてもよい交流でした。今後も園小のスムーズな接続にむけて、交流を続けます。

文責・作成：校長 教頭